

企画展

夏休み自由研究のヒントになるかも



# 地図で見つけた 私が知らない私の街



大都會の横浜も  
江戸時代の終わりが  
までは街道を外れた  
ひなびた村だった



「へえ～そうなんだ」  
「なるほどそういうことか」が いっぱい



山手線は大正時代に  
ひらがなの「の」の字を  
描くように走っていたよ  
上野と東京はつながって  
いなかったんだね

1919年  
～1925年

印旛沼のまわりは  
干拓がずいぶん  
進んでいるね



2014.  
**7.15(火)～8.31(日)**

<開館時間・休館日>

開館時間 9:30～16:30

開催期間中の休館日 毎週月曜日

(ただし月曜日が祝日のときは翌火曜日)

<会場>

**地図と測量の科学館**

(つくば市北郷1番 国土地理院構内)

**入場無料**

お問い合わせ：電話 029-864-1872



赤松宗旦「利根川図志」より

第一巻掲載

「利根川全図」を展示(拡大複製)

茨城県利根町歴史民俗資料館提供

佐倉市

国土交通省国土地理院

## 「地図で見つけた 私が知らない私の街」

### の開催にあたって

私たちは「土地」の上で生活しています。その土地は、大昔から人々が住んでいるところばかりではなく、海や湖を埋め立てしたり、山や丘を削って平らにしたり、森や林を切り開いてつくった新しい土地もあります。新しく生まれた土地は、田んぼや畑に使われたり、道路や鉄道がつくられて開発が進み、住宅や工場が建って街ができたりしています。一方、昔は人々が住んでいたのに産業や環境の変化で、そこに暮らしていた人たちが離れていってしまったところもあります。

このように、私たちのまわりの土地の様子はどんどん変化しています。昔の地図や写真を手に入れて今と比べてみると、何が違って何が変わらなかったのか、どこが変わってどこが変わらなかったのかが良くわかります。大きく変わったところと、あまり変わらなかったところの違いを比べて、その理由をいろいろ考えてみるのもおもしろいです。そこから未来を想像してみるのも楽しいでしょう。

この企画展では、みなさんの身近な土地の変化を、昔と今の地図や写真で比べていろいろ紹介していますので、学習・自由研究の課題のヒントにもなるでしょう。企画展をつうじて、地図に興味を持ってもらうとともに、郷土への理解をいっそう深めてもらえれば良いと考えています。



# 関東平野の昔と今

広大な広がりをもつ関東平野には、首都圏 1 都 6 県がほぼ含まれ、そこには 4000 万人以上が暮らしています。関東地方には、いったいいつ頃から人々が暮らしはじめていたのでしょうか。縄文時代の遺跡が各地で発見されているので、すでにその頃には人々の生活の営みがあったと考えられます。

しかし、関東地方が本格的に開発されるのは 400 年程前に徳川家康が江戸に幕府を開いてからです。江戸幕府は、利根川の瀬替えをはじめとする河川改修、街道の整備、湖沼を干拓しての新田開発、台地を切り開いて耕作地の確保、海岸や低湿地を埋め立てた都市建設など関東平野のインフラ整備を進めました。

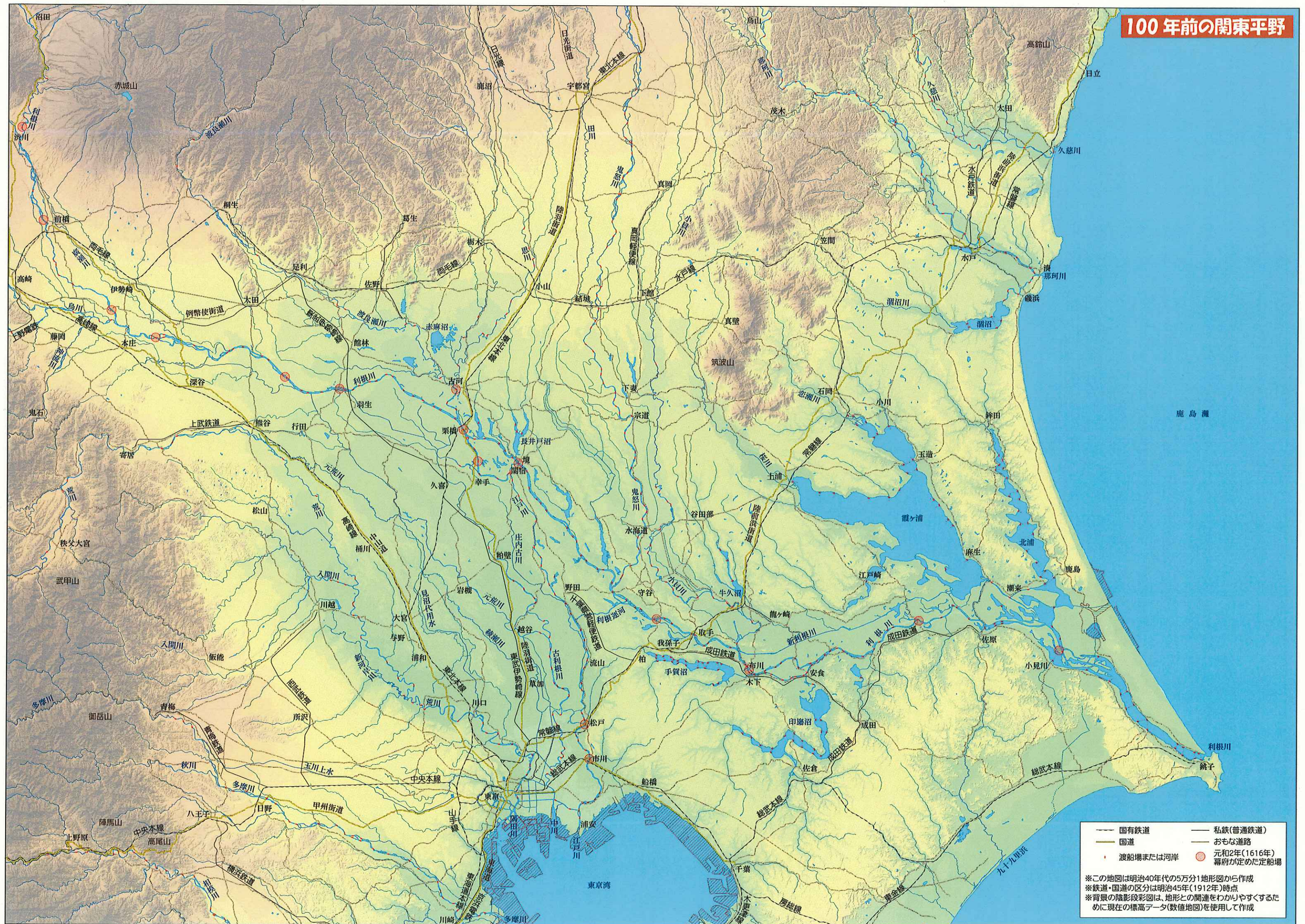
明治時代になり、動力機械が導入されて、より大規模な開発が可能となりました。各地に鉄道が敷かれ、川に橋がかかり、首都圏の都市化が進みました。

ここに展示しているのは、今から 100 年程前（明治時代の終り頃）の関東地方の水流と交通網です。となりに展示している現在の地図と比べてみてください。

100 年前は、もちろん新幹線も高速道路もありません。鉄道も東京都心でつながっていません。反対に目立つのは、渡船場や河岸など船を使った交通です。鉄道や自動車が出現する以前、水運は大量輸送の重要な手段でしたが、江戸幕府は防衛の目的から自由な往来を制限し、元和 2 年（1616 年）には利根川水系に 16 か所の渡船場（定船場）を設けて、それ以外の場所での渡河や橋を架けることは許しませんでした。明治時代になると渡船場の設置が自由になり水運を利用した交通が一層盛んになります。その後、大正時代の終わりごろから鉄道や自動車による交通が普及するようになると、利根川などにも一般道路の橋が次々と架けられるようになり、船による往来も減少し、渡船場は次々と姿を消しました。

100 年前の地図では利根川や荒川といった大河川が蛇行している様子がわかります。また、流域には大小様々な湖沼を見ることができます。これらの大きな河川は、たびたび洪水をひきおこし、人々の生活に深刻な打撃をもたらしました。現在の地図を見ると河川が比較的直線に改修されていたり、多くの湖沼がなくなっていたりしていることがわかります。また、東京都内を大きく切り開いて流れる荒川や江戸川の人工水路を確認することもできます。

## 100 年前の関東平野



This is a detailed topographical map of the Kanto Plain (関東平野) in Japan. The map shows the extensive Kanto Plain, which is a large, flat area that has been reclaimed from the sea. The plain is surrounded by mountainous regions, including the Tama Mountains (多摩山地) to the west and the Sagami Mountains (相模山地) to the east. Major cities and urban areas are marked with red dots and labels, including Tokyo (東京), Yokohama (横浜), Maebashi (前橋), and Utsunomiya (宇都宮). The map also shows the extensive Kanto Plain, which is a large, flat area that has been reclaimed from the sea. The plain is surrounded by mountainous regions, including the Tama Mountains (多摩山地) to the west and the Sagami Mountains (相模山地) to the east. Major cities and urban areas are marked with red dots and labels, including Tokyo (東京), Yokohama (横浜), Maebashi (前橋), and Utsunomiya (宇都宮). The map also shows the extensive Kanto Plain, which is a large, flat area that has been reclaimed from the sea. The plain is surrounded by mountainous regions, including the Tama Mountains (多摩山地) to the west and the Sagami Mountains (相模山地) to the east. Major cities and urban areas are marked with red dots and labels, including Tokyo (東京), Yokohama (横浜), Maebashi (前橋), and Utsunomiya (宇都宮).